

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		企業誘致及び立地促進事業		担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進室	管理番号	3738	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市工場等立地促進条例				
	小項目	1	商工業の振興							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本市の産業振興及び雇用機会の拡大を目的に工場等を設置する事業者に対して奨励措置を行う企業誘致施策のほか、本市産業の強みを活かし産業競争力の強化を図るためアグリテック企業の誘致・集積を目指す。								
目的 ※何のために		本市の産業振興及び雇用機会の拡大に寄与するため。								
対象 ※誰・何を対象に		工場等（農業、製造業及び運輸業）を市内に建設する新規企業もしくは施設の新設等を行う既存企業、本市の農業課題解決に資する企業								
手段 ※どのように		工場等立地促進制度による奨励措置のほか、アグリテック集積戦略の推進のため、アグリテックに係る企業や技術を集め、コンテスト開催や実証実験、現場とのマッチングなどの支援を行う。								
成果 ※何を求めるか		企業の立地を促進し、新たな雇用創出を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	工場等立地促進事業	40,815,000
本事業の 主な業務		・ 工場等立地促進制度に関する業務							・	
		・ アグリテック集積に関する業務							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		※年度別事業費の推移は奨励金の交付件数により推移する。	※年度別事業費の推移は奨励金の交付件数により推移する。	※年度別事業費の推移は奨励金の交付件数により推移する。	※年度別事業費の推移は奨励金の交付件数により推移する。	※年度別事業費の推移は奨励金の交付件数により推移する。	※年度別事業費の推移は奨励金の交付件数により推移する。
事業費	予算（現額）	52,208,000	60,676,000	32,086,000	65,097,000	41,015,000	33,769,000
	決算額	52,179,980	60,641,700	31,889,140	64,900,180	40,815,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	60,676,000	35,887,000	65,097,000	42,656,000
		一般財源	52,179,980	-34,300	-3,997,860	-196,820	5,650,000
人件費	従事職員数（人）	0.43	1.30	0.50	0.50	1.80	0.30
	人件費相当試算※	3,344,970	10,116,600	4,052,500	4,068,000	13,971,447	2,439,404
総事業費試算		55,524,950	70,758,300	35,941,640	68,968,180	54,786,447	36,208,404

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
成果指標 1	DEEP VALLEY会員 企業	目標値	企業	0	0	0	50	60	70
		実績値		0	0	0	49	68	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業開始年度の目標数値を50社とし、その後10件ずつ増やす。/実績による					
	実績値の算出式								
成果指標 2	アグリテックコンテスト参加 企業	目標値	企業	0	0	30	30	23	23
		実績値		0	0	19	28	21	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業開始後2年間の平均値を目標とする。 / 実績による					
	実績値の算出式								
成果指標 3	アグリテック実証実験数（累 計）	目標値	件	0	0	1	4	7	10
		実績値		0	0	0	8	17	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			アグリテック集積戦略に掲げたKPI達成に向けて令和4年度に累計で10件を目指す。 / 実績による					
	実績値の算出式								
成果指標 4	工場等立地促進制度利用件数	目標値	件	0	5	5	5	5	5
		実績値		5	1	6	1	1	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成29年度の実績を基準として、毎年5件を維持する。 / 企業誘致台帳による					
	実績値の算出式								
成果指標 5	アグリテック企業誘致件数 （累計）	目標値	人	0	0	0	0	2	3
		実績値		0	0	0	2	3	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			アグリテック集積戦略に掲げたKPI達成に向けて令和4年度に3件を目指す。 / 実績による					
	実績値の算出式								
活動指標 1	アグリテックコンテスト開催 回数（累計）	目標値	回	0	0	1	2	3	4
		実績値				1	2	3	4
	目標値の算定根拠/実績値の出所			アグリテック集積戦略に掲げたKPI達成に向けて令和4年度に累計で4回を目指す。 / 実績による					
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	アグリテック集積の取組においては、アグリテックコンテストを毎年開催し、事業の推進を図った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	工場等立地促進制度に関しては目標に及ばなかったが、アグリテック集積の取組においてはおおむね目標どおりあるいは目標以上の結果となった。
			評価者 産業ブランド推進室 主査 富田 佳祐

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	・チャットツールやオンライン会議ツールを活用し、業務の効率化を図った。 ・オンラインツールを活用し、アグリテック企業との面談を行った。
			評価者 産業ブランド推進室 主査 富田 佳祐

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	アグリテック集積の民間主導による自走化に向けた取組に関して調査研究を進めるとともに、アグリテックの現場実装に向けて、アグリテック企業に対して農業現場の理解促進を図る施策を展開していく。
達成状況及び その効果	アグリテック集積の取組については、企業向けHPの開設や面談により企業との接点の増加を図ったことにより、DEEP VALLEY会員企業の増加につなげることができた。また、現場とのマッチングを促進し、実証実験数も目標数を達成することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	企業誘致及び立地促進事業	担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進室	管理番号	3738
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		アグリテック集積に向けた企業誘致施策については目標を達成した。引き続き本取組を加速させていくためにも、民間主導で自走化する仕組みなどについて検討・実行していきたい。					
		評価者	産業ブランド推進室長 柴野 晃彦				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	アグリテック集積に向けて、技術の現場普及に繋がるよう補助制度の拡充などを図る。また、交流会を実施すると共に、企業版ふるさと納税等を活用した官民ファンドの創設を含めた産業集積策について検討を行い、取組の自走化を試みる。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	事業の民間自走化のため、交流会の実施や、官民ファンドの創設を含めた産業集積策について検討及び実施する。

8. 評価指標グラフ

